

TOTO

バススパウト

施工説明書

TBH1型
TBH2型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取り付け後はお客様にご使用方法を十分にご説明ください。



安全のために必ずお守りください

取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

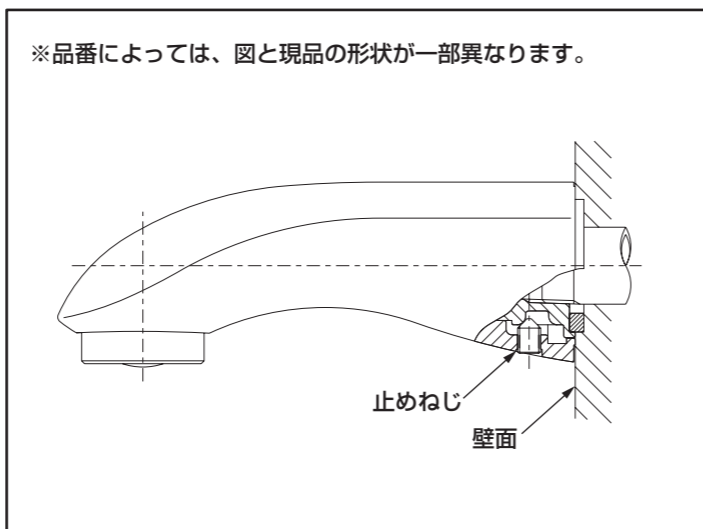
●この説明書では機器を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを ⚠ 注意の表示によってお知らせしています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

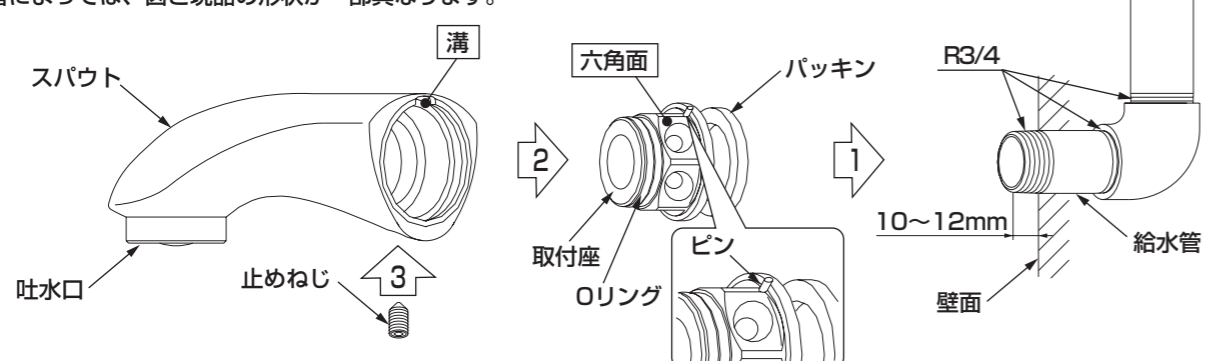
完成図



スパウトの取り付け

⚠ 注意
スパウトと取付座を先にセットして、給水管に取り付けしないでください。スパウトに傷が付いたり、止めねじのゆるみの原因になります。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

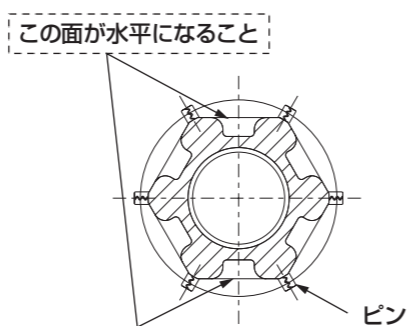


次の手順で行ってください。

1. 取付座にパッキンをセットして給水管にねじ込んでください。六角面を利用して**対辺(穴)が上下で地面と水平になる**ように取付座を給水管にしっかり固定してください。この時、ピンの位置は下図のように6通りの位置のどれかになります。

⚠ 注意

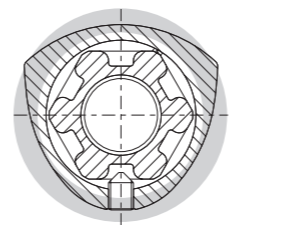
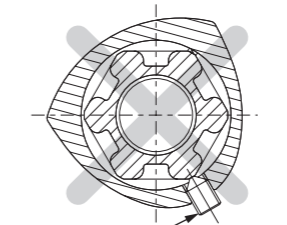
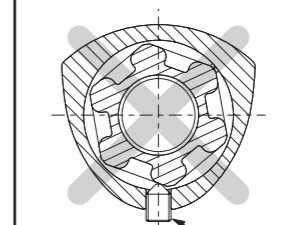
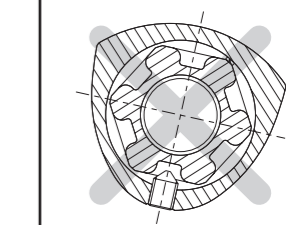
絶対にリングを傷つけないでください。水漏れの原因になります。	
六角面を締め付ける場合は、ピンに工具が当たらないように注意してください。スパウトの取り付けができなくなるおそれがあります。	
接続箇所には配管用シール材を使用してください。	



- スパウトの溝と取付座のピンを合わせて、スパウトを押し込んでください。スパウトが入りにくい時は、石けん水を塗ると入り易くなります。
- スパウトの**吐水口が真下を向く**位置までスパウトを回し、同梱の工具（六角棒スパナ）を使って、止めねじを十分に締め付けてください。（止めねじは、ゆるみ防止構造のため、多少かたく感じますが正常です）

取り付け完了後の確認

- スパウト接続部分の水漏れの有無とスパウトのガタツキの有無を確認してください。ガタツキがある場合は、止めねじを締め増ししてください。
- 止めねじの飛び出しがないか確認してください。飛び出しがある場合は、下図の施工例を参考にやり直してください。
- TBH2型**（切替弁付き）の場合
 - シャワーセットに逆流防止装置があることを確認してください。ない場合は、シャワー散水部から空気を吸い込み、吐水状態が泡沫になったり、空気の吸い込み音が発生することがあります。
 - 圧力の高い所では切替弁の操作に影響がでますので快適に水栓をご使用いただくために、元栓にて流量を絞り、80 L/分（一般的な浴槽のオーバーフロー能力ライン）以下に調整してください。

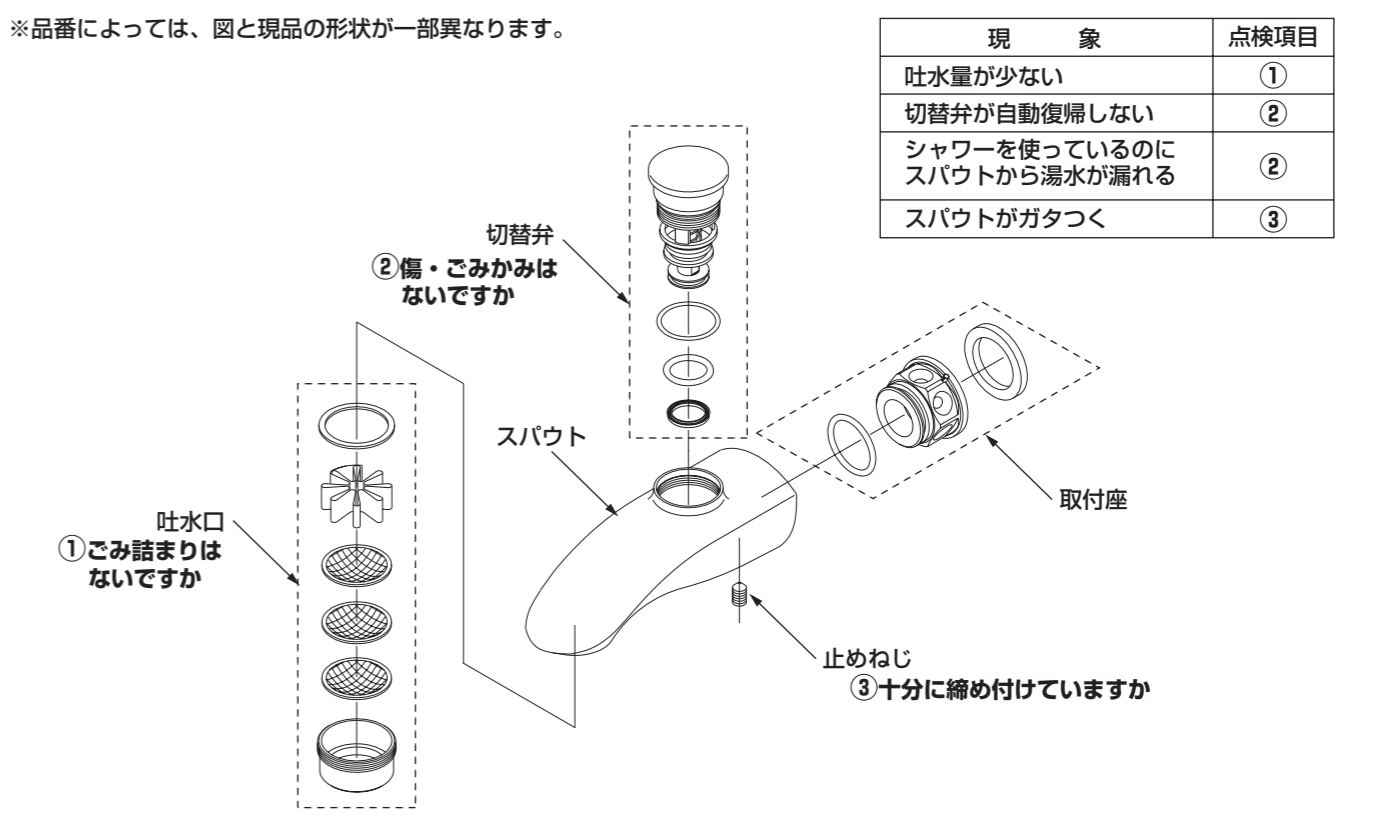
施工例				
取付座およびスパウト共に傾きなし。止めねじの飛び出しもなし。	取付座は正しく取り付けられているが、スパウトが傾いているため、止めねじが飛び出している。	取付座が傾いているため、スパウトを正しく取り付けても止めねじが飛び出している。	取付座が傾いているため、スパウトを正しく取り付けようとしても取付座に倣って傾いてしまう。	

分解と点検

取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

現象	点検項目
吐水量が少ない	①
切替弁が自動復帰しない	②
シャワーを使っているのにスパウトから湯水が漏れる	②
スパウトがガタつく	③



吐水口
①ごみ詰まりはないですか

切替弁
②傷・ごみかみはないですか

スパウト

取付座

止めねじ
③十分に締め付けていますか